

別添 2 : 国・地域レベル PNA : 不安定要因・安定要因の例

不安定要因を構造的要因、引き金要因、継続要因に分類して例示する（安定要因については分類しない）。

対象国・地域の状況により、同じ要因が、ある国では構造的要因、他の国では引き金/継続要因、となることもある。このため実際に国レベル・地域レベル PNA を行う際には、不安定要因を敢えて分類しないことも多い。一方、対応策や、重点的に協力すべきセクターの把握を容易にするため、上記の3分類とは別に、不安定要因を政治、治安、社会、経済等のカテゴリーに分類して抽出することもある。

表 1 : 国・地域レベルの不安定要因（例）

構造的要因	引き金要因	継続要因
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府による国民の抑圧 ・ 実効的で正統な政府の欠如 ・ 統制の効かない軍、警察権力の乱用 ・ 国境管理の不備 ・ 政治への参加の欠如及び権力の集中 ・ 不平等な富の分配、経済格差 ・ 経済・社会的機会の不均衡 ・ 社会内部の利害に関する調停メカニズムの不在 ・ 民族や宗教等特定グループ間の対立及び民族・宗教の政治利用 ・ グループ間関係の負の歴史 ・ 天然資源を巡る争い ・ BHN への不十分な対応 ・ 暴力の文化 ・ 暴力に対するトラウマ ・ 武器（特に小型武器）の存在 ・ 国民の安全が守られていないこと（人権侵害、犯罪） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家の政治的・社会的統合の弱体化 ・ 統治権力や特権へのアクセスを含む国内権力構造の変化 ・ 中央政府の変化／汚職 ・ 急激な経済の悪化 ・ 外部からの政治・経済的介入 ・ 急進的な思想の流入 ・ 新たな差別グループの発生 ・ 武器の流入 ・ 人/資本の大規模な移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争経済 ・ 軍事産業、兵器供給者、違法な商品（麻薬他）のトレーダーの活発化 ・ 職業軍人/貧困化した軍人の増加 ・ 不信感・敵対心の増幅 ・ 暴力、復讐や報復行為の連鎖 ・ 小型武器の流入・蔓延

表 2 : 国・地域レベルの安定要因 (例)

安定要因
<ul style="list-style-type: none">・ 停戦合意/和平合意の順守・ 和平プロセス/政治プロセスの進展・ 先方政府、ドナーの平和構築・復興支援へのコミットメント・ 治安当局あるいは国際部隊による一定の治安の維持・ 地域・民族バランスに配慮した組閣・ 帰還・定住の進捗・ (局地紛争の場合) 継続して機能していた既存の制度や非紛争影響地の人材の活用が可能・ 伝統的ガバナンス等、コミュニティの有する和解・調停機能・ 経済的ポテンシャル (分配が不平等であれば不安定要因になるが、国家の開発/安定/平和構築の促進要因となり得る)